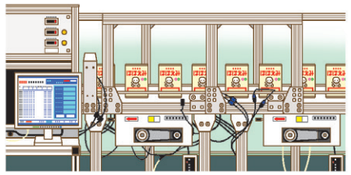
かすかべ「ものづくり」トリビア!

かすかべの「ものづくり」と聞いてみなさんが最初に思い浮かべるのは、先に紹介した桐製品などの特産品のこと? いやいや、それだけではありませんよ。「ものづくり」にまつわる、こんな「へぇ〜!」となるような情報をご存知ですか。



徹底した衛生管理のため、完全自動化された設備で製造、充てんされている。

明治の粉ミルクは日本で長年トップシェア(一般的に公表されている金額ベースで40%以上)、それがここ埼玉工場で製造されている。

meiji 1 明治の粉ミルク「ほほえみ」と「ステップ」は、春日部の工場だけで生産されている!

南栄町工業団地にある明治の埼玉工場。一九七七年(昭和52年)から、原料の調合、殺菌から缶への充てんまで、粉ミルク製造のすべての工程がここで行われている。独自の先端技術で実現したキューブタイプの粉ミルクも埼玉工場製で、「使いやすい」とママ・パパからの嬉しい声が届いているという。

明治の粉ミルク「ほほえみ」

従業員さんのユニフォーム。

世界初のキューブタイプの粉ミルク「らくらくキューブ」も埼玉工場で製造。

帽子とヘアネットも着用。

2 桃屋の「ごはんですよ!」も、メイド・イン・カスカベ!

一九七〇年(昭和45年)、桃屋創業50周年の年に春日部第1工場、事務所、厚生棟が落成。以来第2、第3工場が新設され、桃屋の製造部門は春日部工場に集約されていった。「江戸むらさきシリーズ」などのお馴染みのロングセラー商品から話題の新商品まで、多くのビン詰め商品がここでつくられている。

「ごはんですよ!」「辛そうで辛くない少し辛いラー油」「キムチの素」などが春日部工場で製造されている。

新鮮保存&安全のためのキャップの秘密

キャップをする直前にビン内の空気を吸出して真空にするため、キャップの中央部分のボタンがへこんでいる。開けると空気が入りポンと音がしてボタンがふくらみ、一度開けたらボタンは戻らない。

「ごはんですよ!」は、主に三重県産のヒトエグサ(通称青のり)が原料。松阪工場で混入物除去をしたのちに春日部工場に運ばれ、調味・加工、ビン詰めが行われる。

【調理・加工】→【ビン詰め】

醤油、砂糖その他の調味料で味付けし、大きな釜で炊く。のりの葉の形状を残す「あさ炊き」がこだわり!

3 マウスコンピューターは、かすかべ大通りの「髙島屋衣類店」のガレージから始まった!

今や東京都千代田区に本社を置く大企業となったパソコンメーカー、マウスコンピューター。当時19歳だった髙島勇二(たかしまゆうじ)氏(現・MCJグループ代表)が祖父の経営する「髙島屋衣類店」を引き継いだ際に、祖父の事業の将来性に不安を感じて、自分で事業を立ち上げようと模索したのが出発点だという。

マウスコンピューターは、1993年、当時学生だった髙島勇二氏が、自宅でパソコン通信のサイトを立ち上げ、近くの工業大学生やコンピューター好きな人たちを集めて、改造や増設などを始めたのが始まり。

「Easy-300」

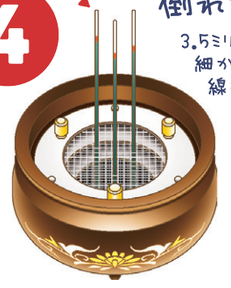
1999年に発表、300ドルPCとして話題を集めた。

社名には、人とパソコンを結びつけてきた接点「マウス」と同じように、人とパソコンの橋渡しを行い、より快適なパソコン環境づくりに役立っていける存在でありたい、という思いが込められているという。

マウスコンピューター発祥の地「髙島屋衣類店」の建物は、現在「春日部ダイレクトショップ プラス」になっている。

4 “倒れない! 燃え残らない!” 灰を使わない線香立てを開発!

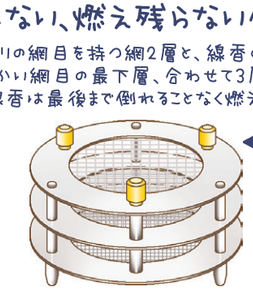
「早沸きそばカマド」など業務用厨房器機の製造・販売会社吾嬬製作所(粕壁東四丁目)の二代目坂口哲男(さかぐちてつお)社長は、先代の遺志を引き継ぎ、「独自開発の自社製品」にこだわりを持っている。考案した「新製品・発明品」は25種類以上。その中で、新聞やテレビでも紹介され話題となっている商品が……コレだ!



灰を使わない線香立て「STRATUM香層(こうぞう)」

倒れない、燃え残らない仕組み

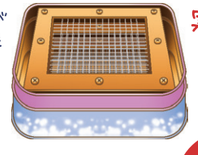
3.5ミリの網目を持つ網2層と、線香の直径より細かい網目の最下層、合わせて3層の網で、線香は最後まで倒れることなく燃え尽きる。



開発者の坂口哲男さん

厨房器機 吾嬬製作所

考案の出発点は、難病の母が線香をうまく刺せずに何度も量を焦がして火災の危険があったこと。キャンディーの空き缶を使って倒れない線香立てをつくった。



母のために考案

5 キレイになれる!? 人気の工場見学がある!

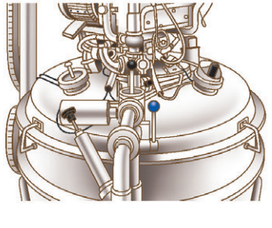
二〇〇五年(平成17年)に豊野町に建てられたエバメール化粧品埼玉工場は、水をテーマにデザインされ、おしゃれな建物はまるで美術館のよう。東日本大震災以降いったん中止になっていた工場見学が二〇一四年に再開。多くの人が見学に訪れ、「商品体験で肌の透明感がアップした」などと好評だという。

エバメール®

エバメール化粧品工場見学の流れ

①会社紹介、商品説明、プロジェクターでの解説。

②工場見学。より粒子の細かいゲルクリームをつくるためのドイツ製乳化釜などを見学できる。



③エバメールゲルクリームでハンドトリートメント。

所要時間約1時間半、1週間前に要予約